

PAGODA

THE PAGODA HOTEL



リニューアルしたパゴダ・ホテルのフロントデスク（写真提供：パゴダ・ホテル／David Murphey）

ホノルルの象徴、パゴダ・ホテルが新たなステージへ 1964年創業の親しまれてきたホテルがアイランドスタイルにリフレッシュ

ハワイ州ホノルル（2026年4月6日）—

ホノルルの街に愛され続けてきた象徴的存在、パゴダ・ホテルが、新たなステージの幕開けを迎えた。60年以上にわたり培ってきた快適さ、文化、そしてコミュニティ精神を礎に、次世代へ向けた新しい時代へと歩み出した。

パゴダ・ホテルは1964年5月、地元の起業家ハーバート・T・ハヤシ（H.T.ハヤシ）の構想により開業した。当時、観光客向けのワイキキのビーチフロントホテルが主流であった中、ハヤシ氏は「観光客だけでなく、カマアイナ（地元住民）のためのホテル」を目指し、ホノルル中心部に居住性の高い、地域に根ざした空間を創り上げた。家族や友人、地域コミュニティが自然に集う“第二の我が家”として、独自の存在感を確立していった。

アラモアナ近くのライクロフト・ストリートに位置するパゴダ・ホテルは、199室・12階建て。ショッピング、ダイニング、交通アクセスに優れながらも、ワイキキの喧騒から一步離れた落ち着いた環境に佇む“知る人ぞ知る名所”として親しまれてきた。「ローカルズ・ホテル」として世代を超えて愛され、人生の節目やイベント、日常の集いの場として、多くの地元住民の記憶に刻まれている。



(写真提供：パゴダ・ホテル／David Murphey)

そして今、パゴダ・ホテルはその豊かな歴史に敬意を払いながら、再活性化が進むミッドタウン・ホノルルにおいて、本格的なローカル滞在を求める個人旅行者やカマアイナなど、新たな世代の旅行者に向けてリフレッシュされた空間を披露し、新たなステージへと歩みを進めた。

「パゴダは昔から、人々が語り合い、節目を祝い、心からくつろげる場所でした」と、オーナー兼デベロッパーのロバート・クリス氏は語る。「その本質は変えることなく、現代的な美意識で再構築しました。ここは今も、そしてこれからも“最もフレンドリーなアロハスピリットを提供する場所”であり続けます。」



(写真提供：パゴダ・ホテル／撮影：Eleven17)

今回の改装は、The Vanguard Theory および Albert C. Kobayashi, Inc.が手掛け、以下の内容が含まれる。

- コンテンポラリーなアイランドテイストのインテリアと新調した家具により、すっきりとした印象に仕上げた客室
- カマアイナのアーティスト、ローレン・トランマーによる客室内アート作品。日本の屏風や中国古典の山水画に着想を得つつ、ハワイ固有の動植物を表現
- 錦鯉の池の大規模改修（構造改善および庭園とプールデッキをつなぐ歩道整備を含む）。ハワイの Kodama Koi Farm が厳選した 200 匹以上の錦鯉が生息
- ホテルのオリジナル建築と調和するようリフレッシュされた廊下および外観
- ロビーにおけるアートウォール（著名フォトグラファー、ザック・ノイルとのコラボレーション）。マーガレット・ライス、ニック・カッチャー、パンキー・アロハの作品およびアーカイブ写真を展示
- ロビーに新設されたリテールおよびスナックコンセプト。パゴダブランド商品や、Aloha Creamery や Hawaiian Pie Company などの“Buy Local Hawaii” 商品を展開
- 今後の館内施設として、ベーカリー&カフェ「Paris Baguette」およびコンビニエンスストア「CU Hawaii」の出店を予定
- 地元で人気の「Rainbow Drive-In」がアイコニックなフローティングレストランに出店（終日メニュー提供予定）

The Vanguard Theory の社長兼クリエイティブディレクター、ミシェル・ジェイミー氏は次のように述べている。「パゴダは、ケアモク地区を形づくってきた多様なアジア文化が交差する場所に位置しています。私たちはその豊かな文化的背景を現代的な視点で再解釈し、伝統と現代、柔らかさと力強さ、自然的要素と構造的要素のコントラストを通じて、その魅力をさりげなく表現することを目指しました。」

リフレッシュされた館内は、自然光、落ち着いたカラーパレット、ホノルルのスカイラインを生かし、快適で現代的でありながら、ホテルならではの温かみのある空間を実現している。



リフレッシュされた池には新たな世代の錦鯉が彩を添える。

（写真提供：パゴダ・ホテル／David Murphey）

パゴダ・ホテルのアイデンティティは、その歴史に深く根ざしている。敷地内に点在する 20 基のパゴダ様式の灯籠や建造物、日本庭園に着想を得た静謐な庭園、そして 200 匹以上の錦鯉が泳ぐ水景が、唯一無二の環境を形成している。長年にわたり、パゴダは、卒業式や結婚式、地元アーティストのパフォーマンスやイベント、日常の集いの場として親しまれてきた。「Meet me at the Pagoda (パゴダで会いましょう)」という言葉は、街の人々に広く浸透している。

多くのホテル体験が均質化しつつある中、パゴダ・ホテルは“本物らしさ”を体現する存在であり続ける。ワイキキの外に位置するローカル志向のアーバンホテルとして、利便性と地域性を兼ね備えた滞在体験を提供している。

リフレッシュされた空間と新たな活気とともに、パゴダ・ホテルは次なる章へと歩みを進める。その基盤にあるのは創業以来変わらぬ「本物らしさ」「つながり」「コミュニティ」である。

現在、「Meet Me At the Pagoda」特別オファーとして、2026 年 12 月 18 日までの宿泊を対象に、宿泊料金 30% オフおよび駐車料金無料を提供。予約受付は 2026 年 5 月 15 日まで。宿泊料金は 1 泊 159 ドルから。ご予約は PagodaHotel.com または +1(808) 941-6661 まで。

施設の写真ギャラリーは www.pagodahotel.com/about-us/gallery/ より。
高解像度画像は [こちら](#)。(画像提供：パゴダ・ホテル)

パゴダ・ホテルについて

パゴダ・ホテルは 1964 年築、ワイキキ近郊アラモアナ地区に位置する 199 室・12 階建てのホノルルのランドマークである。静かな錦鯉の池、20 基のパゴダ様式灯籠、日本庭園、そして地域の社交場としての長い歴史で知られる。近年では、その象徴的な魅力を維持しながら、現代的なアイランドデザインを融合し全館改修を完了した。運営は Highgate が行う。詳細は www.pagodahotel.com を参照。

Highgate について

Highgate は、世界的に展開する不動産投資およびホスピタリティ・マネジメント企業であり、業界におけるイノベーターとして高く評価される。ニューヨーク、ボストン、マイアミ、サンフランシスコ、ホノルルをはじめ、ヨーロッパ、カリブ海、中南米へと事業を拡大する。企画・開発から再投資、売却に至るまで、ホテル資産のライフサイクル全体にわたり専門的なソリューションを提供する。本社および主要拠点はニューヨーク、ダラス、ロサンゼルス、マイアミ、シアトル、ワイキキ、ロンドン、リスボンに所在する。

詳細は www.highgate.com を参照。

メディアお問い合わせ先

パゴダ・ホテル

Caroline Witherspoon または Allison Valdez

Becker Communications, Inc.
電話：(808) 533-4165

Erika Kauffman
HIGHGATE HAWAII
Regional Director of Communications
E-mail : ekauffman@highgate.com

日本語でのお問い合わせ

ハイゲート・ハワイ
アジア地区営業・マーケティング統括本部長
有田亜佐美
Email: aarita@highgate.com
電話：+1 (808) 921-6131